

I. 環境影響評価項目の選定結果

1. 環境影響評価の項目

環境影響評価項目については、配慮書及び方法書での検討結果を踏まえ、「土地区画整理事業に係る環境影響評価の項目並びに当該項目に係る調査、予測及び評価を合理的に行うための手法を選定するための指針、環境の保全のための措置に関する指針等を定める省令（平成 27 年 6 月改正：以下「改正主務省令（平成 27 年）」という。）」の「参考項目」（別表第 1）を参考に、事業特性、地域特性等を勘案して選定した。

環境影響評価項目の選定結果は、表 1-1 に示すとおりであり、「大気質」、「騒音」、「振動」、「水質」、「水環境（その他：水循環）」、「地形及び地質」、「動物」、「植物」、「生態系」、「景観」、「人と自然との触れ合いの活動の場」、「廃棄物等」の計 12 項目を選定した。環境影響評価項目として選定した理由は表 1-2(1)、(2)に、選定しなかった理由は表 1-3 に示すとおりである。

表 1-1 環境影響評価項目の選定

環境要素の区分			影響要因の区分		工事の実施				土地又は工作物の存在及び供用		
			雨水の排水	造成工事	建設機械の稼働	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	敷地の存在(土地の改変)	構造物の存在	交通の集中		
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持	大気環境	大気質	粉じん等			○	○				
			二酸化窒素			◎	◎				◎
			浮遊粒子状物質			◎	◎				◎
	騒音	騒音			○	○				◎	
		振動	振動			○	○			◎	
	水環境	水質	水の濁り	○							
		その他	水循環		◎				◎		
	土壌に係る環境その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質						×		
			斜面の安定性						◎		
	生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全	動物	重要な種及び注目すべき生息地	◎	◎	◎			○		
植物		重要な種及び群落	◎	◎				○			
生態系		地域を特徴づける生態系	◎	◎	◎			○			
人と自然との豊かな触れ合いの確保	景観	主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観						○	○		
	人と自然との触れ合いの活動の場	主要な人と自然との触れ合いの活動の場						○	○	◎	
環境への負荷	廃棄物等	建設工事に伴う副産物		○							
一般環境中の放射性物質	放射線の量	放射線の量	×	×	×	×					

太枠：配慮書で選定した項目
 ○：参考項目であり、かつ選定した項目
 ◎：参考項目ではないが、事業特性等から判断して選定した項目
 ×：参考項目ではあるが、影響がないまたは軽微なため選定しなかった項目
 □：準備書で新たに追加した部分

表 1-2(1) 環境影響評価項目として選定した理由

環境要素				影響要因	選定した理由
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持	大気環境	大気質	粉じん等	建設機械の稼働	計画地周辺には住宅地や福祉施設が存在し、建設機械の稼働に伴い、大気質(粉じん等)に影響を及ぼす可能性があるため。
				資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	計画地周辺には住宅地や福祉施設が存在し、資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に伴い、大気質(粉じん等)に影響を及ぼす可能性があるため。
			二酸化窒素、浮遊粒子状物質	建設機械の稼働	計画地周辺には住宅地や福祉施設が存在し、建設機械の稼働に伴い、大気質(二酸化窒素、浮遊粒子状物質)に影響を及ぼす可能性があるため。
				資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	計画地周辺には住宅地や福祉施設が存在し、資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に伴い、大気質(二酸化窒素、浮遊粒子状物質)に影響を及ぼす可能性があるため。
				交通の集中	計画地周辺沿道には住宅地等が存在し、交通の集中に伴い、大気質(二酸化窒素、浮遊粒子状物質)に影響を及ぼす可能性があるため。
		騒音	騒音	建設機械の稼働	計画地周辺には住宅地や福祉施設が存在し、建設機械の稼働に伴い、騒音に影響を及ぼす可能性があるため。
				資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	計画地周辺には住宅地や福祉施設が存在し、資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に伴い、騒音に影響を及ぼす可能性があるため。
				交通の集中	計画地周辺沿道には住宅地等が存在し、交通の集中に伴い、騒音に影響を及ぼす可能性があるため。
		水環境	振動	振動	建設機械の稼働
	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行				計画地周辺には住宅地や福祉施設が存在し、資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に伴い、振動に影響を及ぼす可能性があるため。
	交通の集中				計画地周辺沿道には住宅地等が存在し、交通の集中に伴い、振動に影響を及ぼす可能性があるため。
	水質		水の濁り	雨水の排水	計画地内には沢が存在し、工事の実施に伴う雨水の排水により、下流河川の水質(水の濁り)に影響を及ぼす可能性があるため。
			その他	水循環	造成工事、敷地の存在(土地の改変)
	土壌に係る環境その他の環境		地形及び地質	斜面の安定性	敷地の存在(土地の改変)

表 1-2(2) 環境影響評価項目として選定した理由

環境要素			影響要因	選定した理由
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全	動物	重要な種及び注目すべき生息地	雨水の排水、造成工事、建設機械の稼働、敷地の存在(土地の改変)	計画地及び計画地周辺には樹林地が存在し、雨水の排水、造成工事、建設機械の稼働、土地の改変に伴い、動物に影響を及ぼす可能性があるため。また、配慮書の調査は、計画地内の情報はあるものの平成初期の既存資料が中心であり、適切な予測・評価を実施するためにも、最新の状況を把握する必要があるため。
	植物	重要な種及び群落	雨水の排水、造成工事、敷地の存在(土地の改変)	計画地及び計画地周辺には樹林地が存在し、雨水の排水、造成工事、土地の改変に伴い、植物に影響を及ぼす可能性があるため。また、配慮書の調査は、計画地内の情報はあるものの平成初期の既存資料が中心であり、適切な予測・評価を実施するためにも、最新の状況を把握する必要があるため。
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全	生態系	地域を特徴づける生態系	雨水の排水、造成工事、建設機械の稼働、敷地の存在(土地の改変)	計画地及び計画地周辺には樹林地が存在し、雨水の排水、造成工事、建設機械の稼働、土地の改変に伴い、生態系に影響を及ぼす可能性があるため。また、配慮書の調査は、計画地内の情報はあるものの平成初期の既存資料が中心であり、適切な予測・評価を実施するためにも、最新の状況を把握する必要があるため。
人と自然との豊かな触れ合いの確保	景観	主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観	敷地の存在(土地の改変)、構造物の存在	計画地には樹林地が、周辺には高尾山等の東京を代表する観光地が存在し、土地の改変、構造物の存在に伴い、景観に影響を及ぼす可能性があるため。また、配慮書の調査は、現地において1回は行っているが、適切な予測・評価を実施するためにも、季節変化を踏まえた状況を把握する必要があるため。
	人と自然との触れ合いの活動の場	主要な人と自然との触れ合いの活動の場	敷地の存在(土地の改変)、構造物の存在、交通の集中	計画地及び計画地周辺には散策路等が存在し、土地の改変、構造物の存在、交通の集中に伴い、人と自然との触れ合いの活動の場に影響を及ぼす可能性があるため。また、配慮書の調査は、現地において1回は行っているが、適切な予測・評価を実施するためにも、季節変化を踏まえた状況を把握する必要があるため。
環境への負荷	廃棄物等	建設工事に伴う副産物	造成工事	計画地には樹林地が存在し、造成工事に伴い、多くの副産物(伐採樹木)が発生するため。

表 1-3 環境影響評価項目として選定しない理由

環境要素		影響要因	選定しなかった理由
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持	地形及び地質	重要な地形及び地質 敷地の存在(土地の改変)	計画地及びその周辺には、日本の地形レッドデータブック等に記載されているような重要な地形及び地質は存在しないため。
一般環境中の放射性物質	放射線の量	放射線の量 雨水の排水、造成工事、建設機械の稼働、資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	計画地及びその周辺における八王子市により実施された空間線量率の調査結果を踏まえ、本事業の実施により、放射性物質が相当程度拡散・流出するおそれがないため。